



地区の概況

- 海側の工業地、低地の古い市街地、丘の上に形成された新しい住宅地に大きく区分されます。
- 杉田梅が江戸時代から有名で、今でも地区内には妙法寺、梅林小学校、大谷梅園など梅の名所があります。
- 2つの鉄道駅（JR根岸線・新杉田駅、京急線・杉田駅）を中心に、昔ながらの商店街や商業施設が集積するほか、杉田地区センター・杉田劇場・スポーツセンター・南部地域療育センターなど各種施設が多く立地しています。

人口等の特徴 人口:23,577人 世帯数:11,899世帯 令和2年からの人口増加率:△1.2% (令和7年3月末現在)

人口は区内3番目に多い地区です。14歳以下の年少人口の割合は区平均に対し0.7ポイント低くなっています。75歳以上人口の割合は16.5%で区平均に近く、一人暮らし高齢者は区平均に対し1.8ポイント低い状況です。

進めているよ! こんな取組



防犯・防災パトロールや小学校見守り隊等、地域の安全・安心につながる自治会の取組が幅広く実施されています。



健民祭、夏祭り、梅まつり等、地域行事が盛んで、世代を問わず多くの方が参加されています。



元気づくりステーションが5箇所もあり、健康づくりの活動が盛んです。

地域の悩み・こんな町にしたい!

- 杉田地区は、杉田梅で知られた地域です。保存活動に関わる人を増やし、文化・伝統の継承や自然環境をみんなで大切にしていきたい。
- 起伏に富み、狭い道路が多いので、災害時に備え、高齢者・子育て世代・障害者等の助けあいができるような町にしていきたい。
- 高齢者の活動がとても盛んなので、より充実させるための工夫をしていきたい。
- こどもの数は減少傾向にありますが、地域全体でこどもとその家族を支える仕組みをさらに広げ、より安心できる町づくりを進めていきたい。
- 地域活動の担い手を増やすために、町内会の枠を超えたイベントや新しい仕組みづくりに取り組んでいきたい。

第5期計画で力を入れたいこと

目標Ⅰ お互いを認めあい自分らしく暮らせるきっかけづくりをしていきます

あいさつ

ゴミ拾いや草刈り、あいさつ運動等の地域の取組により、新たな出会いやあいさつの機会を生みだします。

交流

年代・性別・障害の有無の違いを超えて参加できる、防犯パトロール、防災訓練、ラジオ体操といった既存のイベントへの参加者を増やすとともに地域での交流を図ります。

話しあい

高齢者・こども・障害者・外国籍の人といった対象に合わせて関心のあるテーマを設けてコミュニケーションを図る機会をつくります。



あいさつマスタースタンプラリー

目標Ⅱ つながりを通して健やかに暮らせる仕組みづくりをしていきます

気軽に参加

夏祭りや梅まつり等、世代や障害の有無、住んでいる町会に関係なく参加できる活動や行事を増やします。

やりがい

人とのつながりを感じながら役割をもって参加できる活動や行事をつくります。

健康づくり

地域の健康づくりの意識を高めるとともに、楽しみながら健康づくりと交流を図れる健民祭を盛り上げていきます。

情報

地域の情報を多くの人に知ってもらえるようSNSの活用、多言語への対応等、対象となる人に合わせた情報発信の工夫を行います。



杉田東部町内会もちつき大会

目標Ⅲ 共に支えあうお互いさまのまちとなるよう取組をすすめます

見守り

日ごろのあいさつ、防犯パトロールなどを通じて顔見知りを増やし地域全体の見守りにつなげていきます。

安心・安全

地域の垣根をこえてお互いのまちを知り、災害時安否確認バンダナを用いた訓練や救命講習等を実施し、誰もが安心・安全に暮らせる地域をめざします。

仕組みづくり

多様な人たちが気軽に地域と関われるようなきっかけを増やし、将来的に次世代の担い手として楽しく活動ができるような仕組みをつくっていきます。

子育て

地域全体で子育て世帯を見守り支えあうことで、こどもたちが健やかに成長し、保護者も安心して子育てできる環境づくりをめざします。



梅林小学校「地域防災拠点訓練」

